

Title	編集後記
Sub Title	
Author	重野, 寛(Shigeno, Hiroshi)
Publisher	慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター
Publication year	2017
Jtitle	慶應義塾大学DMC紀要 (DMC Review Keio University). Vol.4, No.1 (2017. 3) ,p.59- 59
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000004-0059">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000004-0059</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 編集後記

重野 寛

慶應義塾大学DMC研究センター副所長 理工学部教授

慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構（DMC 研究機構）を前身として、2010 年度に、慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター（DMC 研究センター）がスタートし、今年度は 7 年目となります。

研究センター創設以来、アナログとデジタルのコンテンツが相互補完的に作用する新しいミュージアムの在り方、方法論、技術、可能性に関する議論と実践を進めてきました。DMC の進める MoSaIC プロジェクトやキャンパ・ミュージアムの検討では、新しいユニバーシティ・ミュージアムの姿を具体的に考えるフェーズに入ってきています。

同時に、本研究センターは MOOCs（Massive Open Online Courses）配信事業体 FutureLearn に関する推進・支援もミッションとしています。今年度は既に 2 つのオンラインコースを開発し、これは FutureLearn を通じて世界中に配信されています。本プロジェクトが提供する最初の 2 つのコースが日本の伝統書物文化と現代サブカルチャーに関するコースであったことは、日本の大学ならではの情報発信という観点からも意義が高いと言えるでしょう。

本紀要はでも、このような DMC 研究センターの取り組みについて、お届けできたのではと思います。今後の活動にもご期待ください。

本年度をもって、本研究センターの活動にご尽力を頂いた岡田豊史さんが任期満了となります。DMC 機構時代から 10 年にわたって勤務をいただきました。長い間、ありがとうございました。